

大阪市保健所 BCG 委託医療機関向け研修会 確認テスト

- 国内における結核の状況と BCG 接種の目的と効果について正しいものを 2 つ選んで下さい。
 - ① 日本は結核罹患率が人口 10 万人対 20 以上の中蔓延国である。
 - ② 大阪市の結核罹患率は全国の結核罹患率の約 5 倍である。
 - ③ BCG 接種を適切に実施すれば効果は一生持続する。
 - ④ BCG は小児の重症結核の予防に役立つ。
 - ⑤ 小児の重症結核で主なものは結核性髄膜炎と粟粒結核である。
- BCG の定期予防接種について正しいものを 2 つ選んで下さい。
 - ① 定期予防接種の期間は、生後 3 か月から 1 年に至るまでの間である。
 - ② 標準的な接種期間は、生後 5 か月から 8 か月未満までの 3 か月間である。
 - ③ 法令に定める特別な事情があれば、当該特別の事情がなくなった日から起算して 2 年間、例えば 3 歳でなくなれば 5 歳未満まで、定期予防接種として実施できる。
 - ④ 接種後に瘢痕が認められなければ、追加の接種を実施することができる。
 - ⑤ 外傷等によるケロイドの認められる者は接種不相当者である。
- BCG 懸濁液の調整方法について正しいものを 2 つ選んで下さい。
 - ① ワクチンアンプルの首の部分の部分を酒精綿で拭いたら、アルコールが乾燥してから開口する。
 - ② 添付のポリ袋は、アンプル開封時に、アンプル内に空気が急激に入って、BCG ペレットが噴出することを防ぐために用いる。
 - ③ 生理食塩液をワクチンアンプルに注入したら、強く攪拌して均等な BCG 懸濁液を作る。
 - ④ BCG 懸濁液をスポイトに吸うときは、泡立てるように空気を入れて、再び均等になるようにする。
 - ⑤ 別売のスポイトと管針を用いたら、1 アンプルの BCG 懸濁液を複数の対象者に使用することができる。
- BCG 接種の方法について正しいものを 2 つ選んで下さい。
 - ① 添付の管針を用いて、上腕外側の中央部に 2 か所接種する。
 - ② 管針の縁でできる円環が縦に並んで相互に接するよう押圧する。
 - ③ 梅雨時で湿度の高く接種部位が乾燥しにくい場合には、ドライヤーで乾燥させればよい。
 - ④ 保護者が希望すれば、臀部や足底にも接種することができる。
 - ⑤ 湿疹等で適切な接種皮膚面がない時は、0.1mL を皮下に注射する。
- コッホ現象とその対応について正しいものを 2 つ選んで下さい。
 - ① コッホ現象とは、接種の押圧が強すぎた場合に、接種部位に強い反応が起こることである。
 - ② コッホ現象を疑う場合は、まず最寄りの保健所に相談するよう保護者に説明しておく。
 - ③ コッホ現象を疑いつベルクリン反応検査を実施した医療機関は、コッホ現象事例報告書を管轄の市町村に提出する。
 - ④ コッホ現象事例報告書は保護者の同意が得られなくても必要事項をすべて記入して提出しなければならない。
 - ⑤ コッホ現象自体は特に有害な反応ではないので、コッホ現象に対する局所治療は通常必要ではない。